

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



5

May , 2024
vol. 450



Contents

特集 『わが恩師を語る』	01
建築探訪 (インド・アーメダバードのル・コルビュジェとルイ・カーン)	03
特集 神奈川の残しておきたい建築	05
委員会活動報告 (サポセンはじめました)	07
賛助会だより	09
支部のページ (川崎支部・湘南三浦支部・秦野支部)	11
編集者のつぶやき (5月の花火大会)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

山口文象先生との一期一会

梅原建築設計事務所 梅原 義信

古い話で恐縮です。

1977年4月、私は明治大学工学部建築学科に入學しました。その時は建築については何も知らず、校舎が堀口捨巳の設計である事や、ましてや分離派などという事も知りませんでした。

とりあえず建築とは何をやる場所なのか、建築関係の部に入ろうと考えました。

当時建築関係の部としては「都市計画部」「建築材料部」「建築意匠部」の3つがあり、迷わず「建築意匠部」に入りました。

建築意匠部は平屋のプレハブに4帖ほどのスペース、畳2枚がL型に置かれ、テーブルと錆びたロッカー、たばこの煙で黄色くなった壁には「〇〇設計事務所アルバイト募集」等のチラシが貼ってありました。そんな中に都立大学で建築学科の新入生を対象とした講演会が開かれるとの情報があり、私は申込みました。

講演会の当日、予定時刻になっても開かれず、講師の先生が遅れているとの事でした。そして1時間ほど経ってからでしょうか、一人の老人が主催者の学生2人と現れました。その人は今にも倒れそうによたよたと壇上に上がり講演をはじめました。その声は見た目と違い力強く、途中、マイクが故障しても「マイクなんかいらぬよ」と声を張り上げて講演を続けました。

その講師こそが「建築家 山口文象」であり、その講演では「建築とは何か」先生の波乱万丈の体験を交えてお話しくださいました。

そして講演の終わりで「今、自宅を学生が集まれるように改装中であり、皆さんも来てください」と仰いました。

私はその講演の話を建築意匠部の当時幹事長をしていた鈴木秀夫先輩（元埼玉会）に話しました。鈴木先輩は「都市計画部」「建築材料部」の幹事長、副幹事長にも呼びかけ、私を含め7人で山口先生とお会いしたい旨、連絡をしてくれました。

先生との約束は1978年5月18日。我々7人は「山口文象」とはいかなる人物か。分離派とは何か。堀口捨巳の教え子の多い建築学科の教授達からも話を聞き、先生が設計した渋谷の山手教会の下でケーキを買い、久が原のご自宅を訪れました。

先生は「あの牧師はケチでねー」と気さくな話から始められ、「建築家とは人間が幸せに生活することのできる空間を創造する人間であると常に考えている。建築家は人間全体を考えすべての生活活動を包含する空間を創ることにあり、技術者であると同時に思想家であり、人間の生活を総合的に把握できる芸術家であることが望ましい」という話を演劇の体験談やワルター・グロピウスの所での体験とともに話してくださいました。そして最後に「現在のRIAは自分の思っている方向と異なっており、今、新しい会社を興そうと考えている。皆さんも協力してほしい」と仰ってくださいました。

私は建築とはなんてすばらしいものか。勉強しようかと心に決めました。

悲しい知らせが来たのはそれから数日してからです。鈴木先輩から「山口先生がお会いした翌日に亡くなった」との事。

一周忌に最後の学生として久が原のご自宅に鈴木先輩と私の二人が呼ばれ、挨拶させていただきました。

■山口文象プロフィール

1902年 東京・浅草に生まれる

1920年 逓信省営繕課

1923年 創宇社を結成

1927年 石本建築事務所主任技師

1930年 ベルリン大学、グロピウスアトリエ

1933年 山口文象建築事務所開設

1953年 RIA建築総合研究所設立

1968年 黄綬褒章受章



■分離派建築会

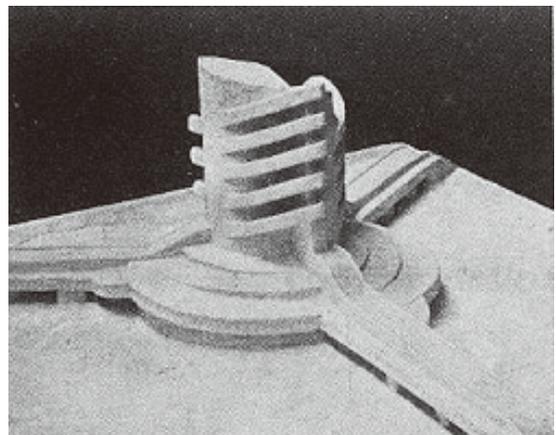
1920年東京帝国大学工学部建築学科を卒業した6人が結成したグループ。その活動は日本で初めての近代建築運動とされる。彼らは自分達の理想の建築像を、百貨店等での展覧会と出版物によって、一般に開いて主張した。当初のメンバーは、石本喜久治、瀧澤真弓、堀口捨己、森田慶一、山田守、矢田茂の6人で、後に逓信省営繕課にいた山口文象、早稲田大学選科生の蔵田周忠、大内秀一郎が加入した。分離派建築会としての活動は1928年の第7回展まで展覧会を開催した。山口は関東大震災後の1923年11月、逓信省の有志と創宇社建築会を起し、近代建築のこの流れを継承した。



山口文象邸



渋谷 山手教会



分離派展出品 丘上の記念塔 (1924)



日本歯科医学専門学校付属医院 (1934)

インド・アーメダバードのル・コルビュジェとルイ・カーン

I. ル・コルビュジェの「綿織物協会ビル」

アーメダバードはインド西部の世界遺産都市にも選ばれた国内第7の都市です。人口は635万人（2011年当時）、農業、綿織物業が盛んな都市です。初めに訪れたル・コルビュジェの「綿織物協会ビル」は現地の産業振興を近代から現代へと成長させる重要な役割を果たしています。インドは高温多湿な上に、雨季の豪雨のすさまじさを考慮し、コルビュジェ独特のブリーズソレイユは奥行き3m程で、容赦なく照りつける夏の日差しを遮ると同時に内部に入り込む豪雨を避ける機能を有し、かつ自然通風を可能にするコンパートメントを形成できる空間です。コルビュジェが当時のアーメダバードの文化や環境を深く研究し、現地の人々の生活に根差したデザインを追求したことがよくわかります。

3 建物を特徴づけるブリーズソレイユと建物内部にはガラスや仕切りがほとんどなく風が自由に行き交う空間です。綿織物加工の作業場のほか休憩所、集会室などがありますが、内部の見晴らしはよく、そこで働く人たちの協働意識を高める交流の場ともなっています。コルビュジェが近代建築5原則で提唱した「自由な平面」「自由なファサード」に、「屋上庭園」が整備されていて就業後にパーティーなどが行われていたとのこと。写真で見てわかるようにインド西部は亜熱帯気候であり、周囲の巨木や鬱蒼とした緑がブリーズソレイユの中にまで繁茂することを意図したデザインは壮観です。

II. ルイ・カーンの「インド経営大学」

アーメダバードにはルイ・カーンが現地の建築家たちと協働で設計したインド経営大学があります。ここでも亜熱帯の気候を研究し理解したカーンのデザイン言語を多く見てとることができます。現地の強い日差しを受けてレンガの赤い外観が映える建築群です。コルビュジェのコンクリート打ち放しのマッスとは対照的に、カーンはインド原産の材料であるレンガを多用しファサードとして

露木建設(株)一級建築士事務所 露木 直巳
います。地元の職人を使い、単純な工法で建てられるとの発想もあったようです。モダニズム建築でありながら土着的な雰囲気を持つデザインとして完成させていると感じました。

大学キャンパスを特徴づける建築群は敷地北端に位置する講義棟や図書館を扇の要のように配置し、そこから南北軸に対してキューブな学生寄宿舎群と教職員住宅を斜め45°に振って雁行させる形態操作を基本としています。この配置計画は南からの微風が通り抜ける重要なオープンスペースを提供しています。講義棟の東西面に学生寮を、その学生寮を教職員住宅が囲みます。その結果、いくつもの中庭や広場を形成する見事なコミュニティを創っています。学生寄宿舎の北西、南西側のファサードは規則正しく配置された正方形の開口をコンクリートのマグサと薄いレンガアーチで構成したデザイン。東側は打って変わって大きなシリンダー状の階段室が2つの連続するアーチの中心に配置。それに対峙する講義棟の立面には巨大な円形開口と大きなアーチの繰り返しでリズムを作り、住居群との違いを鮮明に表現しています。いずれの開口も奥深く後退し、変化に富んでいます。強い日射と自然通風をコントロールし、豪雨から生活空間を守ることを主眼にしている点は、コルビュジェと共通していると感じました。



綿織物協会ビル正面全景（ル・コルビュジェ）



綿織物協会ビル内部入口ロビー (ル・コルビュジェ)



インド経営大学・講義棟入口と筆者 (ルイ・カーン)



綿織物協会ビルのスロープ



インド経営大学学生寮 (ルイ・カーン)



綿織物協会ビル・ファサード2



インド経営大学講義棟 (ルイ・カーン)

特集 神奈川の残しておきたい建築

伊勢原市立子ども科学館・図書館

海老名支部 株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦



5

小学生の頃、市内に新しい建物が完成し、学校の授業で訪れたり、友達と遊びに行ったりと、小さい頃よく利用していた建物です。それが有名な建築家さんの設計と知ったのは大学を卒業して設計事務所で働いてからでした。意外に身近な場所にそういった建築があるものなのだと少し驚いた事を思い出します。

先日近くに用があったので30年以上ぶりに訪れてみましたが、今でもほとんど変わらずに使われている事に、懐かしさと変わらない良さを感じました。

当時のちょっと未来的な印象を受けたのは、仕上材の影響かなとか、象徴的な形態の部分はメインのプラネタリウムや天体観測室だったのか、などと小さいころとは違う目線で見ってしまうところも何か不思議な感じでした。

建築は少なからず人に影響を与えるものであることを改めて感じさせてくれた建物でしたので、是非今後も残って欲しい建物と個人的に感じています。

建物概要

設計：環境デザイン研究所 仙田満

竣工：1988年

構造：RC造一部SRC造

規模：地下2階地上4階建

ホームページ：<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/kagakukan/>



中央労働金庫小田原支店

県西支部 長川建築デザイン設計事務所 長川 勉



外観



外観

小田原市を通る国道1号線を進み、小田原城址公園に近づき曲がる交差点、旧市民会館の前にRC造2階建ての宮殿風の建物が建っている。

この建物は、今は中央労働金庫小田原支店として使われているものだが、元々は明和銀行本店として建てられたものとして伝わっている。しかし、正確な竣工年は不明となっており、明和銀行が新設された昭和2年(1927年)か、それ以前と推定されている。

また、外装はギリシア様式を思わせるようなデザインとなっており、入口横の柱は、柱頭部がイオニア式のオーダーを思わせるが、フルートが無い。柱頭上部には、エンタブラチュアを思わせるデザインだが、装飾は省いている。建物全体をみても、装飾は控えめとしているが、柱や付け柱を整然と計画されていて、シンプルながらもギリシア様式を踏襲しているところが感じられ建築となっている。

しかし、設計者や施工者が不明となっている。一説では明和銀行が旧川崎財閥傘下ということで、旧川崎銀行の建物を多く手掛けた矢部又吉(1888～1941)が関わったという話があるが推定の域を出ていない。

矢部又吉はドイツで建築を学んでおり、設計した旧川崎銀行の建築物は、ドイツ建築の色が出ている建物となり、どれも秀逸な物が多く、多くがファザードや外観を保存されている。もし、矢部又吉が関わっていたのであれば、装飾の少ないギリシア様式を思われるファザードは、ドイツ建築と繋がりが感じられるものと思う。

竣工年を1927年とすると、3年後2027年に100年を迎える建築という事もあり、RC造というだけでも、県内限らず大変貴重な建築となる。今後、建築された背景などが整理され、より伝わる形で今後の小田原の顔として残しておきたい建築だと思う。

【所在地】 小田原市本町2丁目1-23 旧市民会館前

【竣工年】 不明 推定：昭和2年(1927年) 【設計者】 不明 推定：矢部又吉

【開館日】 平日09:00～15:00 (中央労働金庫小田原支店による) 室内撮影禁止



通用口上部



エントランス



窓

委員会活動報告

サポセンはじめました

神事協ホームページに会員サポートセンター（通称：サポセン）が追加されたことをご存知でしょうか？

上部の右側に「いいじゃん！サポセン！」のキャッチフレーズが書かれたボタンがあります。

ここが入り口です！



サポセンはこちら

ここから先は神事協の会員しか入ることが出来ません。サポセンは会員特典なのです。

ログインすると全機能が使用できるようになります。

メニューの中の右上に協力事務所紹介サービスがあります。

「耐震診断の仕事が来たけど、意匠事務所だから出来ないや。だれか引き受けられないかなあ」、「土地探しから住宅設計を受けることになったけど、不動産はよく分からないし」、「近所の人に住宅の設計を頼まれたけど、構造事務所だしなあ。意匠と設備の協力事務所が欲しいな」というように、専門外の協力事務所が必要になったときに、検索を行うことが出来ます。

業務支援委員会 委員長 鈴木 武昭

条件を選択して探す	
検索対象のジャンル	<input type="checkbox"/> 一般建築士事務所 <input type="checkbox"/> 二級建築士事務所
対応業務1	建築 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 不動産業(賃貸) <input type="checkbox"/> 測量業(測量) 建築補修 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 耐震 測量 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 図面確認 <input type="checkbox"/> 図面確認 <input type="checkbox"/> 測量業務 <input type="checkbox"/> 測量現場 <input type="checkbox"/> 測量事務 設計 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 建築設計 <input type="checkbox"/> 構造設計 <input type="checkbox"/> 電気設備設計 <input type="checkbox"/> 電気設備設計 <input type="checkbox"/> 電気設備設計
対応業務2	大規模建築 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 木造 建築計画書 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 木造 建築計画書作成 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 木造 建築費(概算) <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 木造 高度診断・補修 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 木造 設計監理 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 木造
事務所名で探す	
<input type="text"/>	
<input type="button" value="検索"/>	

協力事務所紹介

しかし、業務内容を細かく設定する必要があるため、現在の会員情報だけでは不足しています。

そのため、協力事務所紹介サービスで検索対象になるには、専用サイトでの登録が必要です。



協力事務所紹介サービス登録用QRコード

これが登録専用サイトのQRコード。スマホでも出来ますので、登録をよろしく願います。

数は力！なので、一社でも多くの事務所の登録を重ねて願います。

また、保障サービスのページは仕事で忙しい会員の後方支援のサイトです。

会員の多くの方は自営業だと思います。

従業員や自身を守るための保険は十分でしょうか？

上部団体である日事連が全国中小企業団体中央会に入会したことにより、有利な業務災害補償制度に加入することができるようになりましたので、情報が載せてあります。

今後も協会けんぽよりも安い設計事務所のための健康保険などの情報を追加掲載する予定です。

講習会アーカイブは著作権等の問題もあるため、公開当初は未実装となっておりますが、出来るだけ早く実装したいと思っています。

受講できなかった講習会の評判が良くて、しまった…受講していれば…というときにも見られる、受講したけど確認したいところがあるから、もう一度見たい…というような需要に応えます。

実務文書フォーマットのページではマネージメント支援ツールのJAAF-MSTがダウンロード出来ます。

実は19,800円(税込)もする、この便利なツールが、神事協会員は講習会を受けることで無料で使用することが出来ます。

ここまで読んで、あれ？以前からのサービスもあるな、と思った方がいらっしゃるかもしれません。

神事協の活動を十分にご理解頂き、ありがとうございます。

実はサポセンのコンテンツには既存サービスも含まれています。

しかし、情報が散らばってしまっていて、どこにあるのかよく分からない。

良い情報、良いサービスがあるのに使われていない。

そのような埋蔵金を掘り起こし、一箇所に集め、更に新しいサービスを追加し、会員の皆さんに有効に使って頂く。

これもサポセンの目的のひとつです。

サポセンは数年前から準備を進めて、この春にやっと実現しました。

表に出ていない多くの方々の努力の結晶です。

しかし、まだまだ充実させなくてはならない部分が多いと思っています。

この一年は、より便利に、より多くの情報の掲載をするように改良します。

サポセンは、これからも成長を続け、「サポセンがあるから神事協に入会する！」というレベルまで伸ばして行きたいと思っています。

会員数が減少している建築関係の団体はめずらしくありません。

いや、神事協は例外的に微増していますが、全国的には減少傾向が進んでいます。

神事協はサポセンを武器にして会員数を増やして行きたい。

サポセンは戦略物資でもあるのです。

これからも、気が向いたらサポセン！を覗いてみて下さい。

どこかが変わっているかもしれませんよ！



サポセンメニュー

賛助会だより

2023年度賛助会活動を振り返って

神事協・神奈川賛助会 会長 中央開発株式会社 西原 聡

年間続いた新型コロナウイルスによる行動制限が2023年5月に緩和され、ようやく通常の行動ができるようになり、以前の活気が戻りつつあります。

このような状況の中、2023年度の賛助会の主な活動を紹介します。

●通常総会・総会後の賛助会フェア

通常総会は6月2日、4年ぶりに本会と同じ会場のロイヤルホールヨコハマで開催されました。今回は役員改選が行われ、会長交代も含め、以下9名の役員が選任されました。皆様くれぐれも宜しくお願い致します。

総会后賛助会フェアでは27社の出展があり、久々賑わいをみせました。

- ・会 長 西原 聡 (再) 中央開発(株)
- ・副会長 田村 修 (再) 横浜三協(株)
- ・副会長 下村康嗣 (再) 横浜菱住(株)
- ・理 事 安藤彰彦 (再) (株)都市計画地盤研究会
- ・理 事 森尻正志 (再) タキロンテックス(株)
- ・理 事 瀬戸秀吉 (再) (株)ト-テック
- ・理 事 中村守彦 (新) セイ販売(株)
- ・理 事 河本泰一 (新) (株)アイジ-コンサルティング
- ・監 事 猪俣成人 (再) (株)西洋コンサルティング

●住まい創造フェア2023

『住まい創造フェア2023』は、まだ暑さの残る9月15日、16日に出席企業23社、セミナー主催企業6社で「大和シリウス1Fギャラリー」にて開催されました。来場者は2日間で約50名と昨年より大幅に増加しました。1日目の夕方に行われた懇親会には、本会から29名、賛助会から31名と多くの



『住まい創造フェア2023』展示会場の様子

方々に参加頂き、大変盛り上がりを見せました。

『住まい創造フェア2024』は同じ会場で2024年9月19日～20日に開催予定です。多くの方の来場を期待しております。



●神事協・スポーツ大会

神事協・スポーツ大会は、11月4日に県央ブロックの主催で海老名市の北部公園体育館にてカローリング大会が開催されました。本会、賛助会あわせて32チーム96名と多数の参加者があり、接戦が多く大変盛り上がりました。賛助会からは数チーム参加し、その内、1チームが見事優勝を勝ち取りました。



スポーツ大会カローリングの様子

●賛助会大忘年会 (箱根ホテル南風荘)

『賛助会大忘年会2023』は11月24日、25日に箱根ホテル南風荘で開催されました。

今回は本会新旧会長他、本会から10名、総勢28名の参加を頂き、ベリーダンス、生バンドと大変盛り上がり大いに懇親を深めました。

今年度も神事協を盛り上げて参ります。賛助会をくれぐれも宜しくお願い致します。

賛助会ホームページはこちらから

<https://www.sanjo-kai.com/>



賛助会だより

木造住宅向けの地盤調査【表面波探査】について

ビイック株式会社 高橋 毅

ビイック株式会社 高橋 毅（ツヨシ）と申します。

日頃より賛助会員として、皆様にはお世話になり心より感謝申し上げます。

弊社は、1975年創業の表面波探査法の機器販売・技術開発元 兼 地盤調査会社となります。

地盤改良工事を行わない調査専門会社として、常に公平な立場で調査・解析・判定を行っております。

昨今の土地や建材の高騰により、新築を建てたくても叶わない業者様やお施主様の声を良くお聞きします。

表面波探査の特徴である地盤補強を減らすことで、安全で無駄な費用をかけない住宅設計・建築のお手伝いをさせていただければと思っております。

【表面波探査の特徴】

起振機（表面波探査機）により人工的な地震波を地盤に与え、2点の検出器（センサー）まで到達する速度を計測する調査方法となります。

地盤を地層ごとに断面的にとらえ、深さ1cm刻みの地盤強度（長期許容支持力）の計測、将来的に起こりうる建物の沈下予測、地層傾斜の確認を行い、その地盤に見合った最良な地盤判定を行います。



「こんな場所で地盤補強？」地盤判定で困ったことはありませんか？

建替えの地盤や、高台などの良好な地盤において地盤補強判定となり、お施主様の費用負担のひっ迫や、当初予定の計画や工期のズレなどがおきたことはありませんか？

【表面波探査の無料相談】

●表面波探査によるセカンドオピニオンサービス

既に調査を行っている場合は、調査データを送付ください。表面波探査で再調査を行った場合に地盤補強の回避が可能かを検討します。

※地盤補強回避の可能性がある際は、表面波探査による再調査が必要となります。（要費用）

●近隣データ報告サービス

調査前にお施主様との予算決め、土地購入の際の地盤状況の確認など、表面波探査で調査を行った場合の予測される地盤の見解をお知らせします。

採用するきっかけや、事前設計資料としてご活用ください。

住宅地盤で困った際の相談先としても、対応させていただいております。

ぜひご相談ください。引き続きよろしくお願いたします。

ビイック株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-20-4
TEL 03-3947-5800

KAWASAKI SHIBU NEXT GENERATION

～川崎支部 ネクスト ジェネレーション～

川崎市政100周年にむけて

川崎支部長

(株)多摩設計 岩田 崇

本年令和6年、我が川崎市は市政100周年と言う節目の年を迎えることになります。それに伴い我々川崎支部も行政の方々と一体になり、この記念すべき時を盛り上げるべく活動を行って参ります。

川崎市が掲げる「多様な主体との連携による公共建築の魅力発信」

建築を「見て」「知って」「触れて」公共建築への親しみや愛着を育むと言うテーマに沿って、公共建築をテーマに次世代の子供たちをターゲットとしたイベントを開催する予定です。

具体的には、学校をはじめとする公共建築をまち歩きをしながら周るツアーを考えています。

建築物が街とそこに住む人々との接着剤のように働くことは私個人としても理想に近い。

支部会員一体となって取り組みたいと思います。

また今回は我々設計事務所だけではなく建築に関わる多様な主体（設計者・施工者・学生・行政）が市民を巻き込みながら様々な分野のイベントを開催し相互連携、つながりを感じてもらい狙いがあります。木造耐震など公共サービス事業に従事してきた事務所協会の強みを活かせればと思っています。

11



川崎市は、令和6（2024）年7月1日に市制100年という歴史的な節目を迎えます。
 市制100周年記念事業を「あたらしい川崎」を生み出していく取組として展開していくために、
 300を超える団体・企業等が参加する実行委員会を立ち上げ、「オール川崎市」で動き出しました。
 「みんなが主役」の100周年、川崎の未来づくりを、さあいっしょに。

最後に川崎市が提唱する100周年後の展望が以下です。
 「公共建築（市制100周年）を契機に、建築に関わる団体・学生・行政等が一丸となり
 建築業界を活性化させるとともに、これからの100年を創造する新たな担い手を発掘し、
 公共建築の持続的な発展を図る」
 我々もこの流れを汲み、支部はもとより神事協の発展に繋げて行きたいと思います。

湘南三浦支部の建築展のテーマは、「知っているようで知らないこと」

有) MAGICBUS BUILDING WORKSHOP 1級建築士事務所 三輪 数比古

私は、建築を学び始めた頃から本や雑誌等でなんとなく読んだり見たりして知った事で、実はその内容を殆ど理解していないものが沢山ありました。

たとえばフラーのあの有名なテンセグリティーは、今まで写真では何度も見ているのですが、一体どのような仕組みになっているのか全く知らないまま、知っているつもりになっていました。

2019年、湘南三浦支部も来年度、初めての建築展を行うことになり、それならこの際、今まで理解していないことを順次テーマとし、それらを建築展にしていこうということになりました。

それが湘南三浦支部の建築展の始まりでした。

湘南三浦支部は、建築展を隔年で逗子文化プラザホールのギャラリーで行っております。

2020年に第1回建築展を開催。

テーマは、先程お話ししました、難解なフラーのテンセグリティーをテーマにいたしました。

まず、ストローと輪ゴムで小さな模型を作り、皆で原理を理解し、その約50倍の大きさの展示用を100φの紙管と細いロープで作成。

紙管は圧縮材、ロープは緊張材、一つの紙管とその他の紙管は一切接触していません、紙管が宙に浮いているように見えます。こんな構造体なのですが、手でゆすってみても、子供がぶら下がってもびくともしません、やはり体で感じる事が私達には一番手取り早い理解の方法でした。

最初に検討用に作ったストローと輪ゴムの小さな模型は、皆で量産しノベルティーとして来場者の子供たちに配りました。来場者もこの不思議な構造体にとっても興味を示し、また子供たちが待ちきれずに会場で模型を組立てている、この光景に私たちの展示疲れも一気に吹き飛びました。



ストローで作った模型とノベルティー



子供はすぐ中に入りたがる



湘南三浦オールスターズ2020 湘南三浦オールスターズ2022

第2回建築展は2022年に行いました。この回のテーマは、この年逗子亀岡八幡宮社殿改修の話もあり、貫構造をテーマにいたしました。

その頃から、大きな展示物をフォリーと呼ぶようになりました。

これも前回同様紙管を柱とし、貫と楔を木で作成、2.7M立方のフォリーを作りました。

これも貫を楔で締めるだけでとても強固な構造になることを実感、これにも子供たちが出入り入ったり、楽しい展示になりました。



フォリー展示完了



フォリーと子供たち

さて、第3回目は今年の秋に予定しています。

テーマは、紙で作る大きなカマクラ、直径約4.5Mのフラードームです。

その折は皆様も是非ご来場ください、湘南三浦オールスターズ2024がお待ちしております。



紙で作る大きなカマクラ

支部活動の展望

(株)コイズミ一級建築士事務所 小泉 学

現在、秦野支部の活動として主たる事業となっているのは、秦野市民の日と商工まつりでの建築相談及び市と共催の木造耐震相談会となっています。ブース出展をしている市民の日及び商工祭りは建築相談や広報PRを主として参加協力していますが、イベントの性格上お祭りの要素が多く、ノベルティ配布やキッズコーナー等の実施となっており、飲食物販ブースに比べ集客、広報の面としては、様々な面で問題があると認識しています。近年、「しごと展」と共催とし、支部会員の建築模型、パネル展示も兼ねてのブースとしていますが、参加できる会員数や会員の高齢化も含めて試行錯誤の状態が続いています。

コロナも収束し、各種災害に対する知識や啓発に加えて、「ものづくりの楽しさを伝えてほしい」との行政や各商工団体からの要望も踏まえた新しい試みを紹介します。独自でブース出展している工務店経営の支部会員は、自社の木材端材を使っての工作等を実施しており、昨年度

からは、それらに加えて当社が鉄工所も営んでいる事から始まった新しい体験型の試みです。それはDIYショップで販売されている100Vの溶接機とプラズマ切断機を使用した「溶接教室」で、薄鉄板からの形を切り出し、それらと各部材の溶接をすることで、ペンスタンドや表札、看板、シェルフ等を製作します。この取組により普段このような作業に触れる機会のない子供や女性は目を輝かせ、年配の方々も昔取った杵柄とばかり笑顔で話しかけてくる空間が作れました。使用する電気もエコをアピールし、ポータブル電源からの供給を基に実施しました。次回からは近接ブースの大手自動車メーカーのEVカーから電気供給協力を受ける予定です。また物販もと目論んでおり、廃ドラム缶で製作した石焼き芋器での実演販売にもトライしています。今後は木工体験、溶接体験や他団体とコラボしながら、集客及び広報の充実をはかっていきたい。

13



支部ブース



溶接教室ブース



溶接作業



切断作業



石焼き芋器



石焼き芋器実演

新入会員のご紹介

横浜支部

千代田エクスワンエンジニアリング株式会社一級建築士事務所 平井 清乙
〒221-0022横浜市神奈川区守屋町3-13
TEL.045-441-9341/FAX.045-441-9356

株式会社田辺設計 風呂迫泰寛
〒231-0048横浜市中区蓬萊町2-4-1 関内トーセイビルⅢ8階
TEL.045-250-0715/FAX.045-250-0716

株式会社studio es 佐藤 幸宏
〒222-0033横浜市港北区新横浜3-16-15 新横浜磯栄ビル7F-D
TEL.045-577-0671/FAXなし

藤沢支部

株式会社itumo 亀井 優恵
〒252-0823藤沢市菖蒲沼99-3
TEL.090-8019-1350/FAXなし

Ito設計 伊藤ゆかり
〒251-0004藤沢市藤が岡2-16-3-225
TEL.090-1655-2727/FAX.050-3488-3208

相模原支部

一級建築士事務所ウッドディテール 宮崎 良子
〒252-0233相模原市中央区鹿沼台2-19-17
シャンゼリゼ鹿沼台203
TEL.042-768-7221/FAXなし

退会者

横浜支部

有限会社木村建築測量設計事務所 木村美智子
株式会社エス・デー・ジー (S・D・G) 建築設計事務所 相原 俊弘
株式会社秀研設計 石田 幸康
株式会社ユー・アーキ 本田 友一

横須賀支部

SAGA設計 寺坂 良明

湘南三浦支部

天羽設計一級建築士事務所 天羽 圭

鎌倉支部

システムショップ萩原株式会社一級建築士事務所 渡邊 忠男
一級建築士事務所 有限会社フォルムザール 前砂 雅弘
建築設計事務所 可児公一植美雪 可児 公一

海老名支部

株式会社小田急エンジニアリング一級建築士事務所 山口 織江

県西支部

万葉倶楽部株式会社一級建築士事務所 木下 克彦

変更

横浜支部

株式会社ラクジュ一級建築士事務所
(所在地・TEL・FAX変更)
〒234-0054横浜市港南区港南台3-4-46-304
TEL.045-383-9485 FAX.045-383-9489

川崎支部

養清堂アーキテクツ建築設計事務所
(事務所名・所在地変更)
Sketch&Plot建築設計事務所
〒216-0021川崎市宮前区五所塚2-13-1

横須賀支部

株式会社ドーム一級建築士事務所
(所在地・TEL・FAX変更)
〒238-0031横須賀市衣笠栄町4-35
TEL.046-825-3057 FAX.046-845-4808

賛助会入会者

クマリフト株式会社 横浜営業所
グラフィソフジャパン株式会社
杉山 俊徳

賛助会退会者

ティーケイエイボリューション株式会社
株式会社グラウト工業
株式会社E&CS
株式会社プライムセキュリティー
株式会社ジオテクノジャパン

会勢

支部名	令和6年4月1日現在				増減
	令和6年4月1日	現在	入会者	退会者	
横浜	254	254	0	0	0
川崎	109	109	0	0	0
横須賀	48	48	0	0	0
湘南三浦	18	18	0	0	0
藤沢	38	38	0	0	0
鎌倉	42	42	0	0	0
茅ヶ崎	14	14	0	0	0
平塚	23	23	0	0	0
秦野	11	11	0	0	0
伊勢原	8	8	0	0	0
大和	18	18	0	0	0
厚木	30	30	0	0	0
座間	11	11	0	0	0
海老名	15	15	0	0	0
愛川	6	6	0	0	0
相模原	63	63	0	0	0
県西	37	37	0	0	0
合計	745	745	0	0	0
賛助会員	93	94	1	0	1

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき



<5月の花火大会>

各地で花火大会もようやく開催されるようになってきたところですが、ほとんどは夏季に開催される事かと思えます。

伊勢原市においても花火大会が開催されていますが、この花火大会はいつも4月に開催されていました。今年も開催されると聞いたのですが、なんと今年の開催は5月の事でした。

ちょうどタイミングよくお知らせできるかと思いましたが、皆様機会があれば足を運んでみてはいかがでしょうか。

特徴としては、かなり近い距離で花火を鑑賞できるので迫力があります。また、メロディーに併せて花火が上がるので、音楽なく鑑賞する花火よりも、より感動が大きいと思えます。

(海老名支部 (株) SAIplus建築設計事務所 仙波 弦)

KANAGAWA 令和6年5月号 (通号450号)

発行 令和6年5月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 平山 正義
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

- ・ 担当副会長 小松 正道
- ・ 担当理事 田中 正幸
- ・ 会誌編集特別委員長 小泉 厚
- ・ 会誌編集特別委員長 仙波 弦
- ・ 会誌編集特別委員長 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
- ・ 会誌編集特別委員長 戸井田 顕 中原 尚代 杉本 勝郎
- ・ 長川 勉
- ・ 事務局 小林 恵美



今月の表紙

横須賀美術館

山本理顕さんが、今年のプリツカー賞を受賞しましたが、横須賀美術館も山本理顕さんの設計です。東京湾に面した芝生の広場は休日にはいつも家族連れで賑わっていますし、美術館の内部は、数多くの丸窓から差し込む自然光によって、明るく開放的な空間となっています。現在開催中の鈴木敏夫とジブリ展も、アカデミー賞受賞の影響もあり、とても人気があるようです。

(表紙写真・文／戸井田 顕)



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
Kanagawa Architect Office Association